

Topics  
1

## 教職員の皆さまへ

## ●教育委員退任のごあいさつ



平成24年12月から2期8年、保護者委員として教育委員を務めました。私にとってはあつという間の8年でしたが、就任当時、小学生と幼稚園生だった我が子が、今では高校生と中学生になり、8年という月日の長さを実感しています。

私は、教育委員になるまで、教育行政がどのように動いているのか知らないどころか、教育というものを深く考えたことすらありませんでした。しかし、この8年間、定例・臨時の教育委員会のみならず、前期・後期の高校再編計画に関わったり、県内外の多数の学校を訪問させて頂いたりする中で、すぐには結果が現れない教育の奥深さ、難しさを知りました。同時に、現場の先生、教育に携わる皆様の教育に対する熱い思いを感じる事が出来ました。

答えがない、答えが一つではない教育に日々立ち向かっている先生、教育関係の皆様にご挨拶を送ると共に、高知県の教育がこれまで以上に益々充実したものになることを祈念致します。ありがとうございました。

前高知県教育委員 中橋 紅美



平成28年の年末から4年間にわたり、高知県の教育に携わる機会を頂きました。歴代教育長の皆様はじめ委員の皆様、事務局の皆様にお世話をおかけしながら、教育に関わる多くの事を学ぶ貴重な機会となりました。

教育の課題は広範多岐にわたり、それぞれ奥深く、また複雑に絡み合っていて、簡単には解決できそうにないことを痛感しました。問題は増えていくばかりでゴールに向かっていくのかどうかさえ心配になります。しかし常に課題と向き合っ、一つ一つ丁寧に対応していく、解決策を見つけていく以外に道はないと思います。また、後期高校再編計画に関わる中で、学校が、子供たちが、地域活性化の源と成っている事を強く感じました。

高知で学ぶ子供たちの未来は、県民一人一人の未来や企業の未来、地域の未来に繋がっています。学校現場や教育委員会だけではなく、家庭や職場企業も一緒になって、課題に取り組み、高知で生まれて良かった、高知で暮らして良かったと本当に感じられる高知県の未来に向けて、皆様のさらなるご活躍をご祈念申し上げます。

前高知県教育委員 木村 祐二

## ●教育委員就任のごあいさつ



このたび教育委員を拝命しました町田と申します。

社会的変化に大きく左右されてしまう大変な時代の中、想定される未来を見据え、子どもたちを守る環境を整えていく必要がある役割に責任を感じております。

私は2014～2020年の6年間、「高知おせっかい協会」というボランティア団体の共同代表として、世界中のお客さまを乗せたクルーズ船の入港に合わせて声をかけ合い、困っている方を見かけたら自発的にお声がけをするという“おせっかい”な活動をしてきました。こどもから大人まで、困っている人がいたらなんとかしたいと思う気持ち、誰かの役に立ちたいという自発的な行動は、“おせっかい”される外国の方だけでなく、わたしたちをも幸せな気持ちにさせてくれると体感しておりました。

こどもたちの自発的な意欲を育てていけるような環境づくりにも意識が向けられたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

高知県教育委員 町田 美紀

## ●教育委員就任のごあいさつ



この度、教育委員に任命されました弥勒です。一言ご挨拶申し上げます。  
私は（株）ミロクの経営に日々携わる過程で、人財の教育は経営者のリーダーシップと同じ位に重要である、と確信しております。会社の将来は、優秀な方の採用と、入社後の教育を通じた各人の成長にかかっています。それがあって初めて、この不確実性を増した21世紀の荒海を生き残っていけると考えます。

私たちは、世界の政情不安、グローバル化の流れ、地球温暖化による気候変動、ITとAIの急速な進歩、少子高齢化等、数々の急激な環境の変化への適応が不可欠です。その意味で、特に若年層への教育の重要性はかつてない程に高まっています。

大学時代にテニスばかりに明け暮れていた私が、この様な役割を拝命することに自分自身大きな疑問を持っておりませんが、任命された以上は少しでもお役に立てるよう努力致します。皆様にはご指導を宜しくお願い致します。

高知県教育委員 弥勒 美彦

### ■県教育委員会 教育長・教育委員の紹介（令和2年12月26日現在）

教育長 伊藤 博明

教育委員 平田 健一 / 永野 隆史 / 森下 安子 / 町田 美紀 / 弥勒 美彦

## 令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰について

令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞式が、令和3年1月12日に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためオンラインによるライブ配信で行われました。この表彰は、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げた教職員及び教職員組織について、その功績を表彰するとともに広く周知し、併せて我が国の教職員の意欲及び資質能力の向上に資することを目的とするものです。高知県の公立学校からは、過去に本県の教職員表彰を受賞した方の中から選ばれた8名の方が受賞されました。受賞されました皆様の今後の更なるご活躍を期待いたします。

### ■優秀教職員表彰受賞者一覧

氏名	所属	受賞内容	本県での過去の受賞歴
市川 麻子	中土佐町立上ノ加江小学校	小規模複式校における教育実践と信頼される学校づくりへの貢献	平成26年度土佐の教育実践表彰 平成28年度土佐の教育奨励表彰
小野 博美	須崎市立須崎中学校	学校事務として学校経営への参画と働き方改革等への寄与	平成28年度土佐の教育実践表彰 平成30年度土佐の教育奨励表彰
田村 真美	四万十市立中村中学校	資質・能力の育成を目指した授業改善を全校で実施した取組	平成25年度土佐の教育実践表彰 平成29年度土佐の教育奨励表彰
佐野 亜尽	高知市立城北中学校	学校の組織力向上と学力向上に向けた取組	平成26年度土佐の教育実践表彰 平成28年度土佐の教育奨励表彰
石川 絹子	高知市立南海中学校	学校の組織的な生徒支援体制の構築に向けた取組	平成27年度土佐の教育実践表彰 平成30年度土佐の教育奨励表彰
中平 克	高知県立中村高等学校	保護者等とのコミュニケーションを生かし多角的な視点で課題を解決する取組	平成28年度土佐の教育実践表彰 平成30年度土佐の教育奨励表彰
田村 実敏	高知県立高知丸の内高等学校	部活動指導・分掌業務・教科指導全般における指導力と学校経営への寄与	平成17年度土佐の教育実践表彰 平成30年度土佐の教育奨励表彰
木村 はるみ	高知県立盲学校	視覚障害教育における生きる力を育む教育の実践と地域支援への寄与	平成19・26年度土佐の教育実践表彰 令和元年度土佐の教育奨励表彰



## 令和2年度教職員等表彰について

教職員等表彰は、教育活動が優れ、成果の著しい学校、保育所等及び共同調理場並びに教育関係者であって特に功績が顕著なもの及び全体の奉仕者として他の模範となる職員を表彰するものです。

表彰式（令和2年11月17日）には、高知県議会 三石 文隆 議長、高知県市町村教育委員会連合会 細木 忠憲 会長、高知県小中学校長会 山本 儀浩 副会長、高知県高等学校長協会 藤中 雄輔 会長にご臨席いただきました。伊藤 博明 教育長の式辞の後、「学校表彰」「土佐の教育功績表彰」「土佐の教育奨励表彰」の表彰を行い、最後に、土佐市立戸波中学校 安岡 健二 校長の謝辞で締めくくられました。受賞者の皆様のこれからの活躍を大いに期待いたします。

### ■教育研究実践表彰（優れた教育研究を実践した学校を表彰）

受賞校	受賞内容
高知市立十津小学校	複数教員による児童の自己肯定感を高める授業づくりと運動好きな児童の育成の取組
高知市立一宮中学校	生徒自らが考え議論する道徳の授業展開と教職員が積極的に学ぶ授業改善の取組
南国市立北陵中学校	授業研究のシステム作りの推進と不登校への早期対策に向けた積極的な取組
土佐市立蓮池小学校	図書館及び新聞を活用した言語活動の充実と教員の国語授業力の改善に向けた取組
土佐市立戸波中学校	人権感覚の育成と学級づくりや授業づくりを基盤とした個に応じた指導の取組
四万十町立東又小学校	学校図書館及び図書館資料を活用した授業改善と効果的に言語活動を取り入れた取組
四万十市立中村小学校	国語科を中心として教育課程や授業の質的向上を図る授業改善と学力向上の取組
四万十市立東中筋小学校	道徳を核として特別活動や他教科との関連性を明確にしたカリキュラム構築の取組
四万十市立中村中学校	教科会を中心とした教科の見方や考え方を働かせ資質・能力を育成する授業実践の取組
高知県立大方高等学校	防災教育や地域課題解決学習を地域住民や自治体、各事業所と連携して展開する取組

### ■健康推進活動表彰（健康への関心を高め、地域とともに健康推進活動を実践した学校を表彰）

受賞校	受賞内容
高知市立南海中学校	きめ細かな健康観察や組織的な生徒支援の充実と生徒の心身の健康増進における取組

### ■学校安全優良表彰（学校安全について優れた成果を上げている学校を表彰）

受賞校	受賞内容
安芸市立井ノ口小学校	主体的に考え危険を回避し自ら安全に行動できる児童の育成を目指した安全教育の取組
南国市立後免野田小学校	高知県安全教育プログラムを基に独自の工夫を加えた地域や防災機関との連携強化の取組

### ■土佐の教育功績表彰（主に管理職等の多年にわたる功績と教育実践を表彰）

氏名	所属	受賞内容
前田 圭一 校長	香美市立鏡野中学校	授業改善や生徒に寄り添った生徒指導など教育課題の解決に向けた取組
上村 安和 校長	香美市立大栃中学校	地域に根ざした保・小・中一貫教育の実現とICT教育の取組
今西 和子 校長	高知市立江陽小学校	カリキュラムマネジメントの充実と学校教育の質の向上の取組
藤田 由紀子 校長	高知市立浦戸小学校	複式学級における主体的・対話的で深い学びの実現の取組
山中 由香 校長	高知市立鴨田小学校	児童が安心して生活できる学校づくりと学力向上に向けた取組
武田 敏宏 校長	高知市立愛宕中学校	教職員の意欲を高めたチーム学校の具現化と学力向上の取組
大谷 俊彦 校長	高知市立城東中学校	計画的で組織的な学校経営と教職員の人材育成の取組
澤本 光男 校長	高知市立南海中学校	保幼小中の連携と児童生徒の自尊感情の醸成や学力向上の取組
吉村 元 校長	高知市立横浜中学校	教育課題の解決に向けて授業改善に重点を置いた学力向上の取組
川端 純子 校長	南国市立日章小学校	外国語教育と児童の主体性を育むことによる学力向上の取組
田岡 泰子 事務長	土佐市立高岡中学校	P D C Aサイクルに基づいた学校事務の専門性を生かした取組
安岡 健二 校長	土佐市立戸波中学校	個に応じた指導の徹底による生徒を大切にされた学校運営の取組
横川 左代 事務長	須崎市立須崎中学校	学校事務の機能強化と事務支援室を中心とした後進育成の取組
山脇 克仁 校長	四万十市立中筋中学校	教員同士が共に学び合う研究体制づくりと授業力向上の取組
黒岩 惣一 校長	四万十市立西土佐中学校	開発的な生徒指導を中心とした学校経営と学力向上の取組
岡崎 哲也 校長	土佐清水市立清水中学校	問題行動等を未然に防止する視点による生徒指導の取組
西村 貴美代 事務長	高知県立高知南高等学校	事務職員の資質や能力、意欲の向上のための人材育成の取組
今西 一仁 教頭	高知県立高知北高等学校定時制昼間部	多様な課題を抱えた生徒の実態に応じた組織的な生徒支援の取組
森本 民之助 校長	高知県立高知国際高等学校	国際バカロレア教育や新しい学力観に基づく授業改善の取組
梅原 俊男 校長	高知県立須崎総合高等学校	交通安全教育の推進や地域から信頼される学校づくりの取組
川村 泰夫 校長	高知県立山田特別支援学校	教育課程の見直しやそれぞれの障害種の教育の充実を図る取組

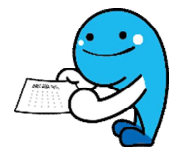
■土佐の教育奨励表彰 (管理職を除く職員継続的な研究実践の取組を表彰)

氏名	所属	氏名	所属
藤戸 広樹	主幹教諭 安芸市立清水ケ丘中学校	西村 美香子	教諭 津野町立葉山小学校
鶴和 節子	教諭 北川村立北川小学校	岡村 壽美	教諭 津野町立東津野中学校
山崎 一平	教諭 香南市立夜須小学校	伊賀 寿子	教諭 四万十町立東又小学校
三木 満喜	教諭 香南市立野市中学校	上野 貴裕	教諭 四万十町立窪川中学校
福留 ゆかり	教諭 香美市立山田小学校	大野 香奈	教諭 四万十市立中村小学校
南 博子	主幹教諭 高知市立第四小学校	山崎 千春	総括主任 四万十市立具同小学校
岡崎 隆太	教諭 高知市立十津小学校	西尾 亜紀	総括主任 四万十市立中村中学校
川村 綾	教諭 高知市立愛宕中学校	渡會 由佳	主幹教諭 四万十市立中村西中学校
坂本 美華	養護教諭 高知市立潮江中学校	久松 美智	教諭 宿毛市立咸陽小学校
合田 真理子	教諭 高知市立高知特別支援学校	宮田 敏子	教諭 高知県立山田高等学校
谷内 佐世	養護教諭 南国市立十市小学校	高野 真則	教諭 高知県立高知農業高等学校
柳原 陽子	教諭 南国市立長岡小学校	橋田 紀生	教諭 高知県立高知追手前高等学校
石田 裕一	総括主任 いの町立伊野中学校	久保 隆司	教諭 高知県立高知追手前高等学校
岡村 勲	教諭 いの町立吾北中学校	宅間 靖	教諭 高知県立高知北高等学校定時制昼間部
北 理香	教諭 土佐市立宇佐小学校	南 友博	教諭 高知県立中村高等学校
中野 聡美	教諭 土佐市立戸波中学校	影嶋 まどか	教諭 高知県立中村高等学校西土佐分校
尾崎 由里	総括主任 須崎市立須崎小学校	西本 貴美	教諭 高知県立中村特別支援学校

■土佐の教育実践表彰 (主に若手・中堅職員の優れた教育実践を表彰)

小中学校関係	山本 まや	北代 智佳	大坪 和子	畠中 隆介	尾立 鏡子	三上 良	上岡 和也	松下 恵美
	高松 多栄	片岡 美都	小笠原 明日香	横田 涼	森澤 亜衣	伊藤 有里	藤原 寛美	岡田 明子
	濱田 珠会	岡本 さちよ	中山 倫世	中野 恵美子	高野 美紀	明神 真紀子	横山 久美	弘田 由佳
	中村 啓子	小松 弥生	松岡 謙	岡林 功祐	榊原 洋美	北岡 ちまり	市川 雅美	吉本 幸司
	川添 光紗	堀内 貴臣	伊藤 恵子	木村 大作	門田 知子	分島 雅子	池田 真代	小野川 真紀
	乾 美紀	刈谷 麻美	石川 剛史	津野 晴雄	大西 由夏	廣見 理奈	白石 浩美	藤原 旭
	西岡 佳也	松岡 敏明	廣瀬 友樹	大崎 良子	曾我本 和明	中井 和重	才市 美奈	
	松本 晶子	松尾 周	利谷 聖佳	片岡 玲子	市川 あすか	矢野 永	溝淵 千波	
	楠瀬 真澄	久家 正美	藤本 由扶子	中末 典子	横川 真知	高橋 藍子	弘瀬 栄美	
	山本 衣里	溝淵 恵美	安岡 敦司	矢野 大樹	野村 美和	奥崎 公太	前田 美由紀	
	公文 陽子	佐藤 真野	掛水 真衣	坂元 貴哉	瀧田 正和	坂本 和恵	倉本 英樹	
	弘田 良子	上平田 和代	馬詰 敦	岩佐 久美子	上甲 元子	久保 智誠	宮本 教子	
	高等学校・ 特別支援学校 関係 (県立中含む)	中島 侑一	和田 成史	池上 ちさ	森本 真一	曾我部 公彦	徳弘 糸	西内 礼子
中山 良幸		戎井 淳	伊藤 育代	五百藏 幸雄	前野 佐希子	戎井 崇	古味 聡子	生田 悠佳
高橋 道		渡邊 伸	中村 美穂	今田 宏	白石 洋一	森田 裕子	芝野 淳子	近藤 理香
横山 雄也		小川 雅司	和田 智有	今橋 英二	福留 紫織	近森 美保	山中 由喜	横内 悠
大場 稔弘		北川 和也	宗光 耕平	岡本 利佳子	山岡 ゆう子	小野川 さおり	長尾 あゆみ	二宮 脩
宮地 早江		岡田 知己	沼田 美樹	田中 尚幸	恒石 直子	山崎 大	石本 理江	重森 健介
弘田 美佳		鍋島 健	安芸 暢英	原 好史	森澤 清規	沖田 耕二	入野 律	

◎その他 252 名の方が  
勤続表彰を受けられました。



教職員・福利課ホームページはこちら。  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310601/>



教職員・福利課 人事企画担当  
TEL : 088-821-4903

## 令和2年度高知県児童生徒学習状況調査の結果について

県教育委員会では、これまで、全国学力・学習状況調査の質問紙調査を活用して、学校の取組や児童生徒の学習状況を把握・分析し、その結果を教育施策の評価や改善に生かすとともに、広く県民の皆様へ情報提供してきました。

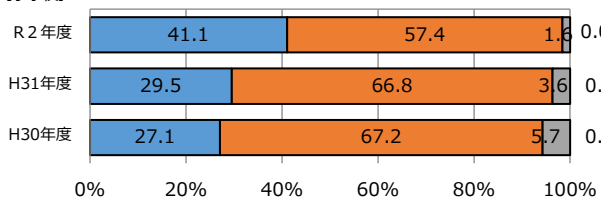
しかしながら本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国学力・学習状況調査が中止となり、県内公立小中学校の児童生徒の学習状況を把握することが難しくなったことから、同調査の質問紙の一部を抜粋し、高知県児童生徒学習状況調査を11月に実施しました。

### ○調査結果

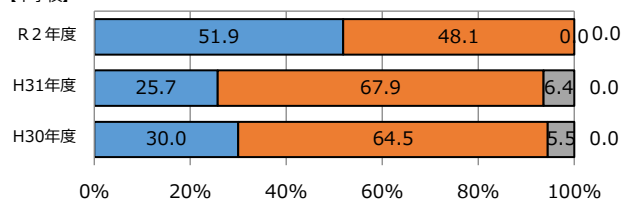
**【学校質問紙】 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか**

■よくしている ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない

【小学校】



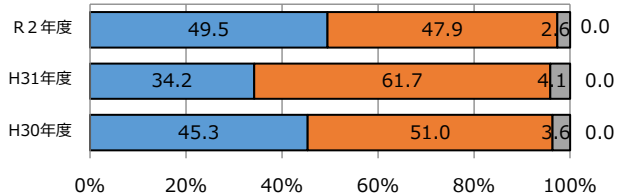
【中学校】



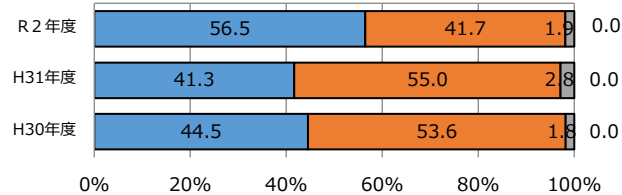
**【学校質問紙】 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていると思いますか**

■よくしている ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない

【小学校】



【中学校】

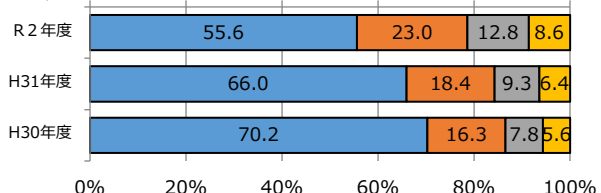


▶ どちらの質問紙も小・中学校ともに肯定的な回答をした学校の割合が高くなっています。特に、「よくしている」と回答した学校の割合が増加しています。

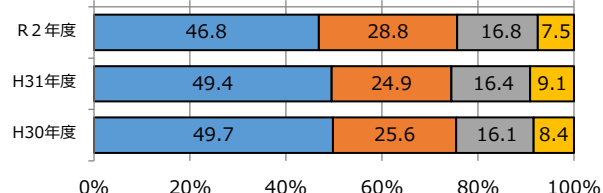
**【児童生徒質問紙】 将来の夢や目標を持っていますか**

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

【小学校】



【中学校】



▶ 小学校では、肯定的な回答をした児童の割合が低くなっています。また、小・中学校ともに「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が低くなっています。

□ 他の調査項目については、高知県教育委員会事務局小中学校課ホームページに掲載しています。

□ 詳細な分析については、令和2年度高知県学力定着状況調査の結果分析とともに、各校に情報提供します。

(3月予定)



小中学校課ホームページはこちら。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>



小中学校課 教育支援担当  
TEL : 088-821-4735

## 高知江の口特別支援学校が移転します

病弱特別支援学校である高知江の口特別支援学校（高知市新本町 2 丁目 13-51）は、令和 3 年 3 月末をもって高知市大原町（心の教育センターの南、高知市野球場の西）に移転します。

高知県教育委員会では、高知県立特別支援学校再編振興計画【第二次】（病弱特別支援学校）に基づき、病弱教育の充実を図るため新校舎の整備と教育内容の充実に向けて取り組んできました。新校舎は高知市大原町の旧高知県教育センター分館跡地を活用し、新校舎の建設、体育館の改修、グラウンド整備等を進めており、令和 3 年 3 月に工事が完了し、4 月に開校する予定となっています。

この移転開校に併せて、高知若草特別支援学校国立高知病院分校を高知江の口特別支援学校の分校とし、高知大学医学部附属病院分校と合わせて 3 校体制で病弱教育の充実を図っていきます。



新住所：郵便番号 780-8031 高知市大原町 1 2 0 番地 5  
新電話番号：088-802-5577 新 FAX 番号：088-883-5507

## 第 5 回高知県特別支援学校技能検定を実施しました

県では、特別支援学校で学ぶ生徒が、作業学習等の授業を通して身に付けた技能等を、専門的な視点から評価及び認定する、高知県特別支援学校技能検定を実施しています。

今年度の検定は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催時期の延期や運営方法等を変更することになりましたが、生徒が安心して検定に臨めるよう 3 密を避けるための工夫や消毒等の徹底を行い、11 月に高知大会（清掃部門・接客部門）、幡多大会（清掃部門）の 2 会場で開催しました。また各校において情報部門の検定を実施することができました。

参加者は県内特別支援学校 11 校、135 名となり、昨年度から 31 名の増加となりました。検定本番では、どの生徒も緊張感を持ちつつそれぞれの受検種目に挑み、学校でしっかり取り組んできたことを出し切ってくれました。



【清掃部門】



【接客部門】



【情報部門】



特別支援教育課のホームページはこちら。  
[http:// www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/](http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/)



特別支援教育課 特別支援学校担当  
TEL : 088-821-4741



県教育委員会では、自転車通学時のヘルメット着用を推進することを目的とした「自転車ヘルメット着用推進事業」を進めています。各学校での様々な取組により、少しずつ通学時のヘルメット着用者が増えてきています。

児童生徒が自らの命を守るために安全な行動を選択できるよう、各学校で取組の推進をお願いします。

■各学校での取組の一部を紹介します

須崎総合高等学校  
高知県学校安全総合支援事業 交通安全拠点校



▲新聞



▲交通安全委員による交通安全活動

須崎総合高等学校では交通安全委員を中心に生徒が自校の交通安全に関する課題について取組を進めています。

今年度は交通安全新聞やのぼり旗を作成し、全校で交通安全について取り組むきっかけ作りを行いました。令和3年度は8月に須崎総合高校を中心に県立学校による交通安全シンポジウムを開催する予定です。



▲のぼり旗

ヘルメット着用について考えよう！  
in 佐川高等学校

佐川高等学校で、ヘルメット着用について考える授業が行われました。学校安全対策課では、指導主事が学校へ出向き、学校の取組を支援しています。



◀授業の様子



【感想1】

今まではヘルメットのことについて話し合う機会がなかったけど、いろいろな改善点を見つけてヘルメットを被る人が増えていけばいいと思いました。

【感想2】

ヘルメットは、事故にあった時に自分の身を守るためにとても大切なものだということに気付きました。大人の意見ではなく、高校生だからこそできる考えや意見を出すことができたので良かったです。



各県立学校でヘルメット着用者増加中！



みんなまでかぶろう



街頭啓発にはくろしおくんもいるよ！



詳しくは学校安全対策課ホームページをご覧ください。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



学校安全対策課 学校安全担当  
TEL : 088-821-4533

## ■ DP (Diploma Programme ディプロマ・プログラム) 認定 (高知国際高等学校)

高知国際高等学校が、公立高校では中四国・九州で初めて、国際バカロレア機構 (International Baccalaureate Organization) のDP (Diploma Programme ディプロマ・プログラム) 認定校として、令和3年1月11日付けで認定されました。DPは、16歳~19歳向けの国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムであり、多様な文化の理解と尊重の精神を通じ、探究心、知識、思いやりに富んだ、国際的な視野をもって行動できる若者の育成を目的としています。DPの所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められ、国内外の大学入試において活用できる成績スコアが得られます。

## ■ IB ワールドスクール 高知国際高等学校 開校へ

11月のMYP認定に続き、今回のDP認定を受け、IBワールドスクールとなった高知国際高等学校は、いよいよ令和3年4月に開校します。高知国際中学校・高等学校では、世界的に評価が高く、課題探究などの探究的な活動やボランティア活動などを行い、世界共通の教育プログラムを実施する国際バカロレア教育を導入し、地域や国際社会の発展に貢献するグローバル人材の育成に取り組んでいきます。



### ○教育目標

「グローバル社会で求められる高い志、資質・能力を育む」  
グローバル教育を教育活動の柱に位置づけ、自ら課題を発見する探究型学習や、高度な英語運用能力を養う教育活動に取り組みます。

### ○学科

#### ★普通科【200人】

大学進学を見据えた学習活動を推進するとともに、外部委員にて構成されているグローバル教育推進委員会の助言を受けながら進めてきたグローバルな課題に取り組む探究型学習や多読・多聴・多話・多書など英語運用能力の向上を目指す学習を行います。進路希望によって2年次からは2つのコースに分かれて学習します。

#### ★グローバル探究科【80人】

- ・探究コース：学習指導要領の内容を双方向、協働型授業による国際バカロレアのMYPの手法を用いて学習します。英語に関する専門科目をはじめ、国際バカロレアの科目も一部学習します。
- ・DPコース：高知国際高等学校は「日本語DP」を実施します。国際バカロレアの専門科目(6科目)を主に学習します。2科目は英語で学習し、その他の4科目は日本語で学習します。専門科目に加えて、課題論文(Extended Essay)、ボランティア活動など(CAS)、知の理論(TOK)を学習します。

※「日本語DP」について

国際バカロレアのDPの授業・試験は、原則として、英語、フランス語又はスペイン語で行う必要がありますが、その一部科目を、日本語で実施することが可能となっています。日本語DPでも、6科目中2科目は、英語等で履修する必要があります。



## ■ PYP (Primary Years Programme プライマリー・イヤーズ・プログラム) 認定 (大宮小学校)

香美市立大宮小学校が、公立小学校では全国で初めて、国際バカロレア機構のPYP (Primary Years Programme プライマリー・イヤーズ・プログラム) 認定校として、令和3年1月13日付けで認定されました。PYPは、3歳~12歳向けの国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムです。

ぜひ、大宮小学校のホームページ(<https://www.fureai-cloud.jp/omiya-e/>)をご覧ください。



▲探究の様子 (大宮小学校)



高知国際中学校・高等学校ホームページをぜひご覧ください。  
<http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/> 「高知国際」で検索



高等学校振興課  
TEL : 088-821-4542



## 嶺北高校3年の朝倉さんが文部科学大臣賞を受賞しました

警察庁主催の令和2年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクール高校生部の部において、嶺北高等学校3年 朝倉 芙架（ふうか）さんが、高校生5,282点の応募作文の中から、最高賞の一つである文部科学大臣賞を受賞しました。

警察庁の「命の大切さを学ぶ教室」を活用して同校で開催された中高合同人権教育講演会において、いじめによる暴力によって高校生の息子の命を奪われた母親の方からご講演をいただき、その感想を作文に書いて応募したところ、今回の受賞につながりました。以下、受賞作品を紹介します。

## 「犯罪のない未来へ」

現在、日本でも多くの被害者遺族の方々が辛い過去を抱えながら生活を送っている。

私の学校では、年に一回人権講演会が開かれており、今回の演題は「命の大切さを学ぶ」だった。講師として高松由美子さんが来てくださった。平成九年高松さんは当時十五歳だった息子さんを集団暴行により失った。私自身、被害者遺族の話聞くのは初めてだったため、ほとんど何の知識もない状態で講演に参加した。

講演の中では、息子さんがどのようにして命を奪われたのか、加害者について、遺族の思いなど、経験した多くを話してくださった。息子さんが受けた暴行の内容は耳を塞ぎたいほどのひどいものだった。しかし、こんなにもひどいことをした加害者達は、現在、被害者遺族と同じ地域で生活し、なかには家庭を築いている人もいるのだ。自分の息子の未来は奪われたのに、加害者は幸せに生き、偶然会うかもしれない所で生活をしている。こんなにも辛いことがあるだろうか。もしも私が当事者だったなら絶対に耐えられないと思った。だが、高松さんは講演のなかでこのようなことをおっしゃっていた。「確かに犯人達のことはとても許せない。けれども、今の自分が息子のためにできることは伝えること。多くの人に伝えることでこの事件を忘れられないように、知ってもらうために、また殺害した犯人にも忘れさせないようにするために、この活動を行っている。そして、一番の願いはこれ以上同じ思い、体験をする人を増やさないようにすること。」

私は、この話を聞いたときとても胸が締め付けられ、この人権問題を他人事としてでなく自分事として、しっかりと考えなくてはいけないと強く思った。だからこそ、私は講演の後、被害者遺族について調べてみた。すると、遺族は事件そのものによる直接的な被害だけでなく、その後も捜査や裁判の段階での精神的・時間的な負担、過剰な取材や報道などの被害後に生じる様々な問題（二次被害）にも苦しめられているということが分かった。遺族は心に一生消えることのない傷をおったまま生きていかなくてはならないということも分かった。また、ある日突然自分の大切な人の命が奪われ、あたりまえだった日常も一瞬にしてなくなってしまうということも知った。講演の中でも高松さんが、「普通の生活を送れることが一番の幸せ。」だと言っていた。自分達にとってのあたりまえは全くあたりまえではなく、とても素敵でかけがえのないものなのだと思えて改めた瞬間だった。

遺族の方々は今も苦しみの中で生きている。その辛さを想像することはできても、それ以上の現実と遺族は常に向き合っている。そう考えた時に、自分達にも何かできることはないのかと思い、調べてみると全国には犯罪被害者ホットラインやNPO法人などが存在することが分かった。私の地元高知にもこうち被害者支援センターがあり、電話や面談での相談を受けるなどの活動を行っている。高校生である自分は経験も年齢もまだ不足している。そのような今の私にできることは、今回の講演を忘れないこと、多くの人に伝えること、また身近な人が悪口を言っていたり、いじめているのを見たらやめるように声を掛ける、困っている人がいたら話を聞くなどの小さなことだと思う。一人でも多くの方がこの小さな取り組みをすることでやがて大きくなり犯罪のない社会になると考える。

誰かが加害者になったり被害者になるような社会は結局は社会のためにならない。犯罪は誰一人として幸せにしないはずだ。

私自身はもちろんのこと、すべての人が命の重みを知り、自分の命も相手の命も大切に思えることが最も重要であり、生きられていることに感謝しなくてはならないのだ。



朝倉さん ↑ 県教育長へ受賞報告



高知北高校定時制2年の邢<sup>シン</sup>さんが日本放送協会会長賞を受賞しました

令和2年度 第68回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会において、高知北高等学校 定時制2年 邢 晓霞(シン ショウシャ)さんが、「未来を信じて」という題目で、全国表彰順位で2位となる、日本放送協会会長賞を受賞しました。本県代表生徒としては、平成元年度以来、32年ぶりの受賞という快挙を成し遂げました。以下発表の抜粋です。

「未来を信じて」

人生にはいくつもの分かれ道があり、どちらを選ぶかで人生は違ったものになります。私はその時、「楽な方に流されてこのまま絶望の中に埋もれていくのは絶対に嫌だ。将来のために技能を身につけよう。」と都市に出て、アルバイトをしながら日本語学校に通う道を選びました。くじけそうになることもありましたが、同じように苦しい環境の中で頑張っている仲間が存在が励みになりました。学んだ日本語を活かして就職できた日の喜びは今でも忘れられません。無我夢中で仕事に打ち込み、少しずつ生活も安定してきた頃、仕事で中国に来ていた日本人男性と出会い、結婚して2007年から高知県で暮らし始めました。最初は日本の生活に慣れず大変でしたが、夫婦で始めた会社の経営も徐々に軌道に乗り、六年前には待望の男の子を授かりました。

子どもが幼稚園に通い始めると、もう一度勉強したいという気持ちがわき起こり、初めて夫に「もっと勉強したい。もっと日本の文化に触れ向上したい。」と打ち明けました。すると夫は、「高知北高等学校の夜間部なら、仕事や子育てを分担してやれるから挑戦してみたら。」と背中を押してくれたのです。私は「もう一度やってみよう。失ったものを取り返そう。」と入学を決意しました。

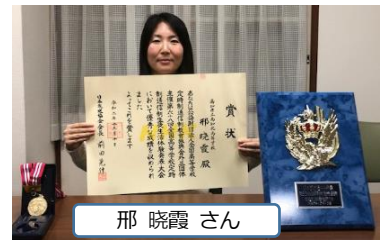
感動の入学式からはや一年余りが過ぎました。私は仕事と子育てをしながら一日も休まず登校しています。授業中はとにかく集中して先生の話の聞き、放課後は図書室で定期テストに備えて復習をしています。日常会話には不自由ませんが、様々な教科を学ぶとなるとやはり母国語のようにはいきません。苦労もありますが、先生方は親切で、何か分からないことがあると丁寧に教えてくれますし「やる気のあるシンさんの存在が、他の生徒たちにも良い影響を与えてくれている。」と言ってくださいます。同級生とはずいぶん歳が離れていますが、生徒同士だからかいろいろな話をしてくれます。それぞれに事情を抱えながら頑張っている姿を見て心強く感じると同時に、多少なりとも自分がみんなの役に立っていることを嬉しく思います。

私は現在、飛び級して三年間での卒業を目指し、通信制併修や高校卒業程度認定試験にも挑戦しています。生徒会活動やクラブ活動にも取り組み、毎日本当に忙しいけれど、家族や周囲の人に支えられて充実した日々を送り、学ぶ喜びをかみしめています。そして今、私には「大学進学」という更に大きな夢もできました。

人生は決して平坦ではありません。でも、置かれた環境を嘆いてばかりいず前に向いて努力していれば、その過程にはかけがえのない出会いがあり、自分を成長させ明るい未来に導いてくれると信じています。

子どもを持つ親となり、二十年の時を経て高校生に戻ることができた私に、もう一つ変化がありました。故郷の両親に贈った家で息子の百日のお祝いをした時、初孫を抱いて嬉しそうにしていた父が、その三か月後突然脳出血で亡くなったのです。あんなに恨んでいたはずなのに、当時の父の悩みや苦しみがかすかだけ理解できるようになった自分に驚いています。

お父さん、お母さん、私を生んでくれてありがとう。これからも頑張る生きていくからね。未来を信じて。自分の人生に胸を張って生きていくために。



問い合わせ：高等学校課 学校教育支援担当

\*\*\*\*\*

**行事予定** (2月、3月の主なもの) ※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定が変更する場合があります。

- 2月**
- 1日 保幼小連携・接続推進シンポジウム  
(高知市 ふくし交流プラザ 9:15~)
  - 5日 情報教育推進リーダー養成プログラム集合研修(実践報告会)  
(高知市 オーテピア 13:00~)
  - 6日 高等学校PTA連合会功労者表彰式  
(高知市 高知会館 13:30~)
  - 7日 高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2020  
(高知市 春野文化ホール ピアステージ 13:00~)
  - 8日 グローバル教育推進委員会  
(高知市 高知共済会館 14:00~)
  - 9日 社会教育主事等研修  
(香南市 県立青少年センター 13:30~)
  - 12日 市町村教育委員会連合会総会・研修会  
(高知市 高知会館 13:30~)

- 地域学校協働活動研修会
- 12日 西部ブロック(三原村 三原村中央公民館 14:30~)
  - 16日 東部ブロック(香南市 県立青少年センター 14:00~)
  - 17日 第2回高知県人権教育推進協議会  
(高知市 人権啓発センター 10:00~)
  - 19日 県安全安心まちづくり推進会議 総会  
(高知市 県民文化ホール 14:00~)
- 3月**
- 23日 第3回高知県総合教育会議  
(高知市 高知会館 15:00~)
  - 25日 管理職等辞令交付式、新任用管理職研修会  
(高知市 会場未定 10:00~)
  - 30日 退職者辞令交付式、感謝状贈呈式  
(高知市 高知会館 14:30~)

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

